

発行
令和5年12月
第200号
古高町自治会
TEL 582-8448

広報古高

R5. 12.1 現在（前月比）
世帯数 1,508 (+ 6)
人口 3,824 (+ 9)
男 1,877 (+ 8)
女 1,947 (+ 1)

ふるたか往来

自衛消防隊隊長 伴野 省三

10月28日(土)、親と子の広場や神社境内にて自主防災総合訓練を行いました。前日の雨もやみ、秋晴れの中で多くの住民の皆さまにご参加いただき、避難・救出・消火・救命・炊き出しの訓練を終えることができました。災害時に自分にできること、自分たちがすべきことを考え知っていただく良い機会になったのではないでしょうか。運営にご協力していただきました全ての皆さまには心より御礼申し上げます。



1月までの主な行事予定

- ★12月31日(日) 大晦日のつどい
- ★1月 1日(月) 元旦祭
- ★1月14日(日) 左義長
- ★1月23日(火) 獅子舞



迫力ある兵主太鼓の演奏



キッチンカーも大盛況でしたね



綿菓子と販売コーナーも大行列



折り紙コーナーにバルーンコーナーも熱気むんむん



ふれあいまつり

2023.10.8



楽しい楽しい小畠さんのマジックショーでした



古高町自主防災総合訓練

2023.10.28



がれきの中からの救出をします



全員でバケツリレー



小さいお子さんも一生懸命放水



中学生も救命訓練を体験

人権研修旅行

2023.11.26

秋晴れの中、第1回古高町人権研修旅行として奈良の水平社博物館へ行ってきました。館内ではガイドの方が熱心に水平社の設立に至る経緯や現在までの苦労の数々と、今も残る差別意識の現状について語って下さり、新たに人権同和について学習しつつ、それについて改めて深く考える良い機会となりました。

奈良公園にも立ち寄り、世界遺産の東大寺などを自由に散策して、大和路の秋も感じてきましたよ。



リニューアルされた水平社博物館



鹿ものんびり自由な東大寺南大門前





教えて! 古高の企業さん!!

(株)富士カガク関西工場

弊社は、昭和36年に設立(香川県)しました。平成2年には古高工業団地に関西工場完成・滋賀営業所を開設しました。ものづくりとしてポリエチレンやラミネートのフィルム生産から人々の生活に欠かせないパッケージ(食品関連の袋他、多種多様)を生産しています。

あらゆる包装資材づくりを通して
より快適な生活にお役立ちさせています。



ごみのない美しい街づくり運動 2023.11.19



この小さな公園から
これだけの草がでます



みどり公園では子ども達も一緒に
お手伝いをしてくれてました!!

すこやかミニサロン 2023.11.4



今回は駅前交番の巡査に詐欺についてのお話しをしていただきました。
その後の民謡やアップル体操など、有意義で楽しい時間をお過ごしいただけたかと思います。



赤十字奉仕団清掃 2023.10.24

自主防災総合訓練を迎えるにあたり、親と子の広場の草刈りをして下さいました。夏の間に伸び放題になっていた広場もすっきりしました。

ありがとうございました。

秋季例祭（新嘗祭）2023.11.23

秋晴れの暖かな陽射しの中
肅々と斎行されました。



あいさつ運動 2023.11.6

「おはようございます」のひと声
で繋がる気持ちもあります。
挨拶は希薄になりつつある地域の繋がりに温かな気持ちをもたらせたり、防犯対策の一環にもなります。
その手助けになれれば幸いです。



花苗配布 2023.10.7

秋の花苗の配布が行われました。今回はパンジーとナデシコです。寒い冬の街角に暖かな彩りを与えてくれますね。



人権同和学習会 2023.11.11 「よりよい人間関係を築くためのコツ」

講師に町内にお住まいの安岡寛先生をお招きし、アンガーアングル(怒り)をマネジメント(管理)することの方法やメリットを考えました。
怒りとは人間がもつ自然な感情なので、無くすのではなく使い分けることが必要なのだと改めて自分自身を見直す良い機会になりました。
怒りのコントロールは「いじめや暴力の未然防止」になります。
子どもの鏡である私たち大人がまず、
必要な怒りを捨て、
必要な怒りは冷静に伝えることを身につけたいですね。



ふるたか ひと 人

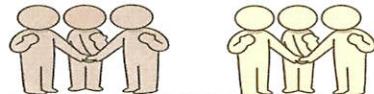
～人と人とのつながりの大
切さを伝えるために～

古高が誇る防災士 里内 瞳美さん（円前班）

小学校時代に所属した青少年赤十字奉仕団（JRC）の活動参加を経て、高校3年生で再びJRCでの活動を始めた後、滋賀県社協主催の災害ボランティアリーダー研修を受け、本格的に阪神淡路大震災や東日本大震災などの被災地へのボランティア活動に関わるようになりました。現在は毎年県内各地で実施されている災害ボランティアセンターでの指導者として協力されています。また、防災研修会の講師もされており、研修会では「自助・共助・ご近助」の必要性を強く訴えられています。「災害を自分事として考えてほしい」、特に「人と人とのつながりを大切にしてほしい」と伝えられています。

日頃から地域行事に積極的に参加し、住民同士の顔見知り関係を築いておくことが大切であり、もし災害が起きた場合には自分の命を守る「自助」だけではなく、ご近所さんの命を救う「ご近助」が必要だと考えておられます。

どうぞみなさんのご家庭でも話し合ってみてほしいテーマですね



～墓地管理組合よりお知らせ～

古高共同墓地で墓地購入の募集を行います。

今回は5区画で、金額は1区画につきおよそ53万円前後となります。

募集期間は

令和5年12月～令和6年2月です。

申込みされます方は用紙（何でもかまいません）に氏名・電話番号を記入の上、自治会事務所のポストに投函してください。

応募対象者は古高町在住の方限定です。

Hallo 子育てサロン

10月はもりの風幼稚園から先生2名の来訪でどんぐりやじろべえを作ったりリズム遊びをしてもらいましたよ。



11月は虹のはし保育園より湯浅先生来訪で秋の楽器を作って遊んだり、読み聞かせをしてもらいました。楽しんでいただけたかな？

古高町民誌シリーズ1 「古高俊太郎先生の生涯」より～志士としての道②～

幕府の偵吏の目が厳しく活動は難しくなっていく中で、同志の一人である湯浅五郎兵衛門が訪ねてきて『一族の中で湯浅喜右衛門という者がおり升屋と名のり、諸藩のご用達として商いをしていた。住まいは木屋町四条西角にあるが、喜右衛門の死後は荒廃している。その家の跡を継いで家政を整理してもらえないか。』という話をもちかけてくる。俊太郎先生は熟考の末、しばらく升屋喜右衛門になりますし、同志との往来から幕吏の目をくらませるのも良しと、湯浅氏の好意を受けることにした。これにより裏では「古高俊太郎」あるいは「頼母」の名で同志との交友を深め、表向きは「升屋喜右衛門」として商人を装い、幕吏の目をうまく避けつつ、勤王の志士として活躍することとなる。

升屋の名と場所を使って、和歌や抹茶の会などの遊びを利用して、実は尊王攘夷の計画の相談をし、あるいは同志の人々の潜伏の場所に利用して、連日その計画を練った。そして日下玄端、寺嶋忠三郎、乃美織江などの計らいにより、有栖川宮および多くの公卿との間を頻繁に取り持つことに尽力するなど、長州藩士と朝臣の間に信頼関係を築かせたことは、俊太郎先生の地道な努力が大きかったのである。

次号～志士としての道③～へつづく

◆引っ越してきました

- ・堀 祐輔 さん（押事班） 7月
- ・辰巳 智也 さん（押事班） 8月
- ・藤田 将孝 さん（中東班） 8月
- ・野村 和伸 さん（中東班） 9月
- ・浦谷 力也 さん（押事班） 10月
- ・松尾 啓介 さん（西野班） 10月
- ・寺田 健人 さん（押事班） 11月



～赤十字奉仕団よりお知らせ～

4年間で皆さんと一緒に集めてまいりました
プルトップが、社会福祉協議会にて車椅子1台
と交換することができました！！
これからも継続して回収をして
いきますので、更なるご協力を
どうぞよろしくお願いします。



『編集後記』

古高町自治会長 中島 正一

「広報古高」の発行が第200号となりました。第1号は平成3年4月に発行されました。又、令和4年の5月よりカラー版にリニューアルしまして、写真を多く取り入れたり文字の書体に変化を加えたりなど、内容面でも皆様を引きつける広報紙となるようにこれからも情報発信してまいります。